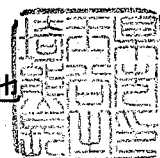


熊谷市ゆうゆうバス運行事業（ひまわり号）公募型プロポーザル競争実施公告  
熊谷市ゆうゆうバス運行事業について、公募型プロポーザル競争によりその契約の相手方となる契約候補者の選定を行うので、下記のとおり公告する。

令和7年5月2日

熊谷市長 小林 哲也



記

# 1 業務等概要

- (1) 名称：熊谷市ゆうゆうバス運行事業者選定（ひまわり号）
- (2) 目的：「熊谷市ゆうゆうバス」は、民間の路線バスを補完し、高齢者等移動制約者や本市への来訪者等の利便性向上を図るため、令和7年5月現在、8路線を運行している。このうち、ひまわり号について、令和7年9月末に協定期間の満了を迎えるとともに、車両の走行距離や老朽化により修理頻度が増加し、現行車両での運行が困難となることを踏まえた車両の買替えと併せて当該運行業務に最も適した運行事業者を選定するものである。

## (3) プロポーザルを実施する運行業務の概要

項 目	運 行 要 領
1 運行系統	熊谷駅～大里行政センター～長島記念館前路線
2 運行期間	令和7年10月1日から令和13年9月30日まで（ただし1月1日から1月3日までの期間は除く）

3 運賃	<p>(1) 1回200円（ただし、小学生は100円）</p> <p>(2) 1日乗車券500円</p> <p>(3) スマホバス回数券 10枚綴り1,500マナー（単位は地域電子マネー「クマPAY」による。1,500円相当）（ただし、当面の間）</p> <p>(4) 紙の回数券 10枚綴り2,000円</p> <p>(5) 旧・紙の回数券：令和6年1月末まで販売していた11枚綴り1,000円の回数券については、2枚で1回または1枚と100円で1回乗車可能とする。</p> <p>(6) 運賃の免除について</p> <p>以下の者は無料とする。</p> <p>ア 未就学児</p> <p>イ 障害者手帳または障害者手帳アプリ「ミライロID」を提示された方とその介助・付添人1名</p> <p>ウ 運転経歴証明書※所持者</p> <p>※運転免許証を自主返納した方に警察署が有償で発行。</p> <p>エ ゆうゆうバス無料乗車証※所持者</p> <p>※運転免許証を自主返納した市民の申請によって市が交付している乗車証</p>
4 運行回数 時間	別紙時刻表を基本とし、提案に含めるものとする。
5 運行車両	<p>(1) 車両の準備：新事業者が現事業者から、両者の協力の下に現在の車両を引き継ぐこととする。10月1日以降の引継ぎまでの運行は、予備車両等での運行とし、新事業者は予備車両1台を準備するものとする。なお、車両の仕様変更は、原則として行わない。令和8年10月1日以降は新たな車両での運行とし、新事業者が新規車両2台を準備するものとする。</p> <p>(2) 車両の仕様：定員40人程度以下のバス車両であって、ノンステップ型車両（スロープ又はリフト付き）とする。</p>

6 停留所	<p>(3) 運行事業者が日常的に維持管理を行い、運行車両の車検及び故障等により車両を使用できない場合には、運行事業者の予備車両（原則ノンステップ車両とする（スロープ又はリフト付き））で対応する。その際、車椅子利用者、高齢者等に対してのサービスは怠らないようにする。</p> <p>(4) 運行車両については、常に安心、安全な運行が図れるよう、点検整備や清掃を行うものとする。</p> <p>(1) バス停留所標識（移動式）は、時刻表板、バス停留所一覧付きのものとする。</p> <p>(2) 停留所の数は別紙時刻表のとおりとする。詳細は新事業者と市で協議の上決定する。</p> <p>(3) 停留所の設置及び維持管理については、運行事業者が行うものとする。</p> <p>(4) 既存のバス停は、運行開始日に新事業者に引き継ぐこととする。</p>
-------	--

## 2 協定期間

令和7年10月1日から令和13年9月30日

## 3 提案事項

- (1) ゆうゆうバスの定時運行、安全運行に関する提案（時刻表の提案）
- (2) 利用者対応、苦情処理に関する提案
- (3) 運行経費の削減、運行外収入獲得、利用者増に関する提案
- (4) 路線バス、鉄道等その他の公共交通機関との連携、各施設との連携に関する提案

## 4 運行経費に対する補助金の上限

運行期間の運行経費に対する補助金の上限は、下記のとおり（消費税及び地方消費税を含む）とする。

24,250千円（令和7年度下期分予算額）

332,000千円（債務負担行為限度額）

## 5 選定をするための方式

公募型プロポーザル方式により、「熊谷市ゆうゆうバス運行事業者選定基準」に基づき、選定を行うこととする。

## 6 プロポーザル競争採用理由

国土交通省「コミュニティバスの導入に関するガイドライン」の中で「選定に当たっては、運行経費の多寡のみを基準とするのではなく、収益拡大策、運行の安全性、利用者の利便性、環境への配慮、緊急時の対応能力等の観点から総合的に評価することが重要である。」とされており、価格以外の要素も含めて総合的に判断する必要があると認められる業務であるため。

## 7 参加資格

プロポーザル競争に参加できる者は、公告から協定候補者の選定までの間において、次に掲げる要件を満たす者とする。

- (1) 熊谷市建設工事請負等競争入札参加者の資格等に関する規則（平成18年規則第81号）又は熊谷市物品等競争入札参加者の資格等に関する規則（平成18年規則第82号）に基づく資格者名簿に登載されていること。
- (2) 熊谷市建設工事等の契約に関する入札参加停止等措置要綱（平成17年訓令第62号）又は熊谷市物品の買入れ等の契約に関する入札参加停止等措置要綱（平成19年訓令第50号）による措置を受けていないこと。
- (3) 地方自治法施行令（昭和22年政令第16号）第167条の4第1項及び第2項の規定に該当しないこと。
- (4) 会社更生法（平成14年法律第154号）に基づく更生手続開始の申立てをしている者（更生手続開始の決定を受けている者を除く。）又は民事再生法（平成11年法律第225号）に基づく再生手続開始の申立てをしている者（再生手続開始の決定を受けている者を除く。）でないこと。
- (5) 国土交通大臣から道路運送法（昭和26年法律第183号）第3条第1号イに定める一般乗合旅客自動車運送事業の許可を既に有するか、運行に向け、一般乗合旅客自動車運送事業の許可の取得が確実であること。
- (6) 熊谷市内又は隣接市町に、本社または営業所を有するバス事業者
- (7) 次のアからカまでのいずれの場合にも該当しないこと。

ア 役員等（個人である場合にはその者を、法人である場合にはその役員又は支

店若しくは常時協定を締結する事務所の代表者をいう。以下同じ。)が暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律(平成3年法律第77号)第2条第6号に規定する暴力団員(以下「暴力団員」という。)であると認められるとき。

イ 暴力団(暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律第2条第2号に規定する暴力団をいう。以下同じ。)又は暴力団員が経営に実質的に関与していると認められるとき。

ウ 役員等が自己、自社若しくは第三者の不正の利益を図る目的又は第三者に損害を与える目的をもって、暴力団又は暴力団員を利用するなどしたと認められるとき。

エ 役員等が暴力団又は暴力団員に対して資金等を供給し、又は便宜を供与するなど、直接的又は積極的に、暴力団の維持、運営に協力し、若しくは関与していると認められるとき。

オ 役員等が暴力団又は暴力団員と社会的に非難されるべき関係を有していると認められるとき。

カ 協定の相手方がアからオまでのいずれかに該当することを知りながら、当該者と協定を締結したと認められるとき。

(8) 上記(1)の規定にかかわらず、プロポーザル競争の実施に必要と判断される場合において、資格者名簿に未登載の者に対し、次に掲げる書類を提出させる等の方法により審査を行い、適当と認められるときは、当該プロポーザル競争に参加させることができる。

ア 概要書(参考様式1)

イ 使用印鑑届(参考様式2)

ウ 履歴事項全部証明書(商業登記簿謄本)

エ 財務諸表

オ 法人にあっては、直近年度の法人市民税(市内業者の場合)、法人税(市外業者の場合)、消費税及び地方消費税の納税証明書(未納がないことが確認できるもの)

カ 業務経歴書

## 8 募集概要

### (1) 募集方法

公告及びホームページにより公募するものとする。

## (2) 申込方法

実施要領で定める企画提案書を提出期限までに提出する。

提出方法は、企画課へ持参、郵送もしくは電子メールによるものとする。

電子メールによる場合は、PDF化したデータとし、送信後は電話による受信確認の実施を行うものとする。

提出期限 令和7年5月19日（月）（予定）

提出先 総合政策部企画課

## 9 審査概要

### (1) 一次審査

#### ア 審査方法

企画提案書から、総合政策部企画課にて実施要領にある各条件を満たしているか書類審査を行う。

#### イ 通知

書類審査を通過した者に、二次審査に関して通知する。

一次審査で各条件を満たしていなかった者については、その旨を通知する。

### (2) 二次審査

実施要領、仕様書に基づき提出された企画提案書について、以下の方法により「熊谷市ゆうゆうバス運行事業者選定プロポーザル審査委員会（以下「審査委員会」という。）」が審査する。

#### ア 審査委員会委員（8名）

委員長 総合政策部長

副委員長及び委員2名 熊谷市地域公共交通会議委員

委員 企画課長ほか関係課長3名

#### イ 審査方法

事務局があらかじめ提示する説明会資料に基づき事業者がプレゼンテーションを行い、事前に提出していただく提案書の内容と合わせ、審査を行う。

（ア）日時：令和7年5月26日（月）13時30分から（予定）

（イ）場所：熊谷市宮町二丁目47番地1

熊谷市役所 本庁舎6階 603会議室東（予定）

（ウ）持ち時間：準備、質疑応答を含め25分間

（プレゼンテーション15分、質疑応答10分）

(エ) 内容：企画提案書の内容について説明を行い、審査委員会委員が行う質問に回答する。

(オ) 特別な理由がなく開始時刻に遅れた場合は失格とする。

### (3) 評価方法

次のとおり評価採点し、協定候補者及び次点候補者、第3候補者を特定する。

#### ア 採点

審査委員会委員の各人の評価点数は、委員長及び副委員長を含めて均一とし、各社、委員1人あたり100点満点とする。

#### イ 選定

集計した合計点が1位となった者を協定候補者として特定する。なお、最高点を得た者が2人以上ある場合は、提案価格の最も低い者を協定候補者として特定する。さらに提案価格が同額の場合、実施体制の得点の最も高い者を協定候補者として特定する。

合計点が2位となった者を次点候補者、3位を第3候補者として特定する。

ただし、協定候補者、次点候補者及び第3候補者のいずれもその合計点は、満点の6割以上の得票率でなければならない。

なお、1者のみ応募の場合は、配点表の合計点から経済性（価格）点を除いた点数の6割とする。

#### ウ 評価採点基準項目及び配点

評価項目		優	可	劣
(1) 業務遂行体制	ア 理解度	10点	6点	1点
	イ 実施体制	15点	9点	1点
	ウ 不測の事態等への対応	15点	9点	1点
	エ 実績	15点	9点	1点
(2) 業務提案	ア 的確性	10点	6点	1点
	イ 実現可能性	10点	6点	1点

(3) 経済性（価格）	15 点	9 点	1 点
(4) 取組体制	5 点	3 点	1 点
(5) 総合力	5 点	3 点	1 点

#### エ 評価点の考え方（提案価格以外）

各審査委員会委員は、評価採点基準項目ごとに、最も優れた提案をした１者のみに満点を付し、それに比較して他者には２点以上減点した点数を付す。

（他者の点数は同点数可）

なお、参加が１者の場合、上記満点を付す考えは適用しない。

#### オ 最低基準点の設定

最低基準点については、６割以上とする。

#### カ プロポーザルの参加資格が無効となる場合

提出書類に虚偽の記載があった場合、参加資格を無効とし、評価採点の対象としない。

### 10 協議

選定後、協議が整い次第、速やかに協定を締結する。なお、この場合、協定候補者は改めて提案価格を上限として見積書を提出するものとする。

協定候補者との協議が不成立となった場合には、次点候補者と熊谷市で同様の協議を行うものとし、さらに次点候補者との協議が不成立となった場合には、第３候補者と熊谷市で同様の協議を行うものとする。

### 11 情報公開及び提供

市は、企画提案書等について、熊谷市情報公開条例（平成１７年条例第１０号）の規程による請求に基づき、第三者に公開できるものとする。

ただし、企画提案者の正当な利益を害すると認められる情報は、非公開となる場合があり、プロポーザル競争の協定候補者選定に影響を及ぼす恐れがある情報は、選定後の公開とする。

### 12 日程（予定）

令和７年      ５月    ２日（金）      実施公告、参加申込及び質問受付開始



5月 9日（金）	質問締切
5月13日（火）	質問に対する回答
5月19日（月）	参加申込、企画提案書提出期限
5月20日（火）	一次審査結果、二次審査案内通知
5月26日（月）	二次審査
5月27日（火）	選定委員会への報告
5月30日（金）	選定結果通知

### 13 問合せ先

熊谷市総合政策部企画課

住 所：〒360－8601 熊谷市宮町二丁目47番地1

電 話：048－524－1111（内線529）

FAX：048－525－9222

E-mail：kikaku アットマーク city.kumagaya.lg.jp

※ “アットマーク” 部分は「@」に置き換えてください。